

令和5年度 第3回 エルシーブイ放送番組審議会

■開催日時 令和5年12月22日（金） 午後1時30分～午後3時00分

■場 所 エルシーブイ株式会社 本社会議室

■出席者 委員総数 5名

出席委員	市川 純章	委員
	河西 滋子	委員
	赤沼 喜市	委員
	井上 淳哉	委員
	菊池 大介	委員（欠席）

放送事業者側 (10名)

深井 賀博	代表取締役社長
大野 弘信	専務取締役
八幡 聡	放送制作部長
小池 利幸	放送制作部 報道課長
佐野 銀次朗	放送制作部 制作課長
吉田 和晃	放送制作部 FM制作課長
早川 達朗	放送制作部 編成課長
金田 さや香	放送制作部 制作課
國枝 志保	事務局
内藤 由里子	事務局

■議 事

1. 審議事項

【審議番組】 『かくれんぼのイイトコみーつけた!』

<委員からの主な意見>

□評価意見

- ・LCVらしく地元密着の番組で良かった。
- ・二人のキャラクターで全体的に楽しいトークと雰囲気が進められ、テンポが良く、何気ない風景や会話を軽快に見聞きできる印象だった。番組の構図やテンポは良かった。
- ・取材場所はもちろん、出ている人もほとんど知っている方で、ローカル局ならではの「知っている人がテレビに出ている」という感覚を楽しめた。このご当地感が改めてLCVの強みだと思う。
- ・マイクを向けられていないので、普通に会話している様で良かった。
- ・ハンディカメラでも映像が綺麗だった。技術的には素晴らしかった。
- ・テロップや説明が細くなくされているので場所がよく分かった。
- ・新たに知った場所や行った事がある場所（博物館等）が放送されていて、また行ってみようと思いつきながら観ることが出来た。

□指摘意見

- ・「プレゼントがあるから最後まで見てね」というのは、視聴維持のため番組冒頭や中間でも触れて良いかと思った。差し支えなければ応募数が気になる。
- ・後半ではイベントや美術館など、視聴者の行動を喚起できる情報があったが、地域情動的な観点では全体を通してもう数箇所、スポットの案内があっても良い。
- ・区で言われると場所がわからない。地図で場所を示してもらえたら良かった。
- ・二人で笑う部分が多い。観ている方を笑わせるようなトークを研究してほしい。
- ・「イイトコみーつけた」のテーマから、リポーターにもう一工夫あれば良いと思った。
- ・事前取材があるならば、テーマを見つけてからロケを行った方が良い。テーマ模索中な感じがした。
- ・地元の人でも知らない事が沢山あるので、それを見つけて深掘りするのも面白いと思った。
- ・番組の最後に紹介した場所を振り返ると、番組が締まるのではないか。
- ・六市町村の中でも知らない場所を視聴者と共有できるような番組にしていてもらいたい。
- ・ただ日常を撮っただけ（トークが面白い訳でもないし、こだわりがある訳でもない）だった。
- ・取材された人も満足度が低いのではないか。
- ・30分番組の中で、カカシのところに時間をあれだけ費やしたのはもったいないと思った。（尺の使い方が気になる。）
- ・全部が中途半端で、中身がなさすぎた事が残念だった。
- ・番組の放送回数が少し多い感じがした。更新頻度を早くして、半年後にもう一度再放送するのも良い。
- ・30分では、内容が盛り沢山過ぎたように感じた。例えば、30分尺は前置きをして、特集などに繋げていく流れが出来たら良いと思った。

以上